

「介護福祉士が実践している 中核的役割と機能」について

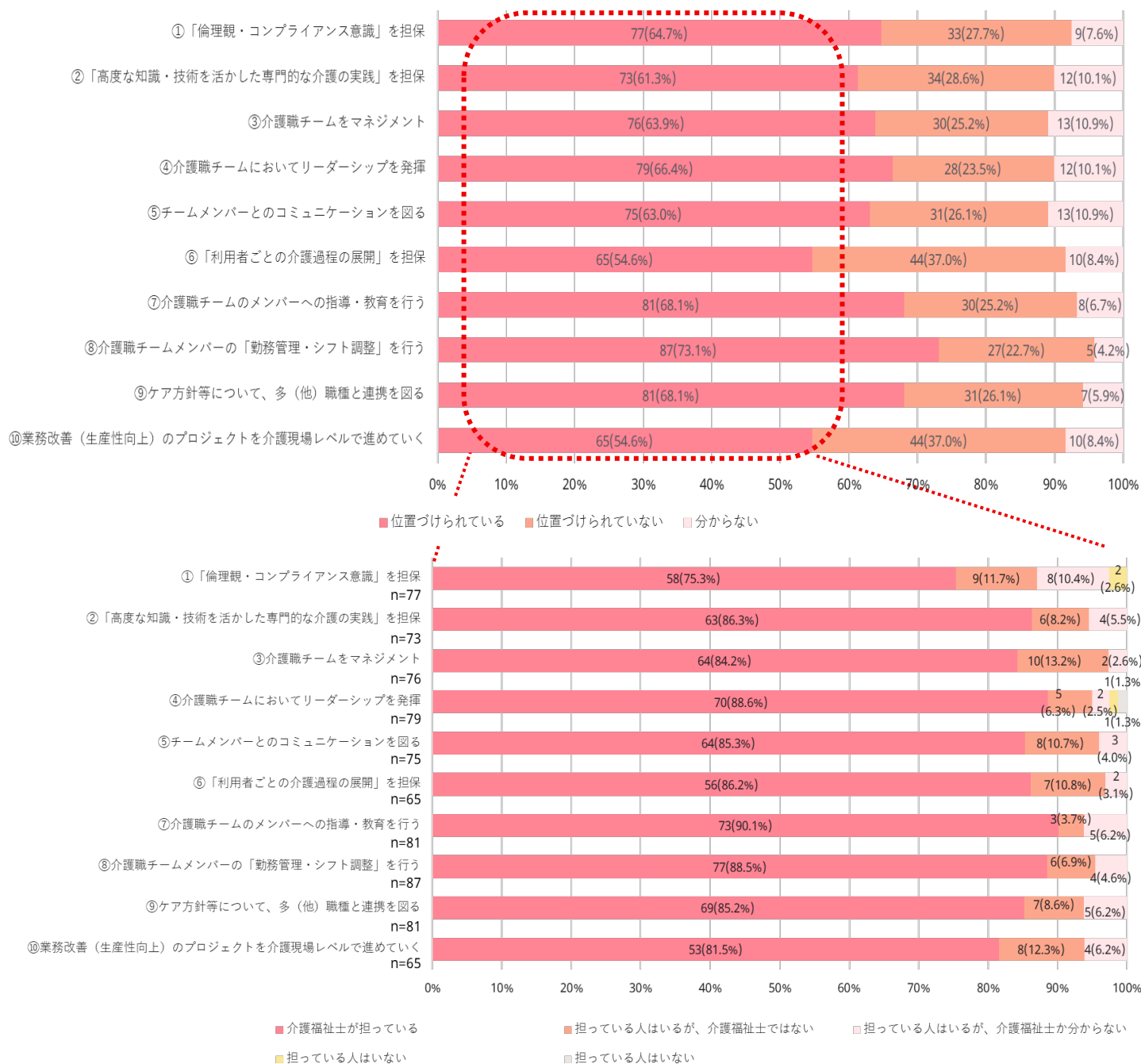
令和7年11月10日



「介護福祉士が実践している中核的な役割と機能」について

- ・中核的な役割を担う介護福祉士に求められる役割・機能（中核的役割）として想定される、下記について、
「職場で、この役割・機能が、介護職員の業務として、業務分担表等に位置づけられているか」
「職場では、この役割・機能を、介護福祉士が担っているか」を
日本介護福祉士会の会員のうち、運営サポーターとして登録いただいている方を対象として、アンケート調査を実施
- ①介護職チームメンバーの「倫理観・コンプライアンス意識」を担保する役割・機能
- ②介護職チームとして「高度な知識・技術を活かした専門的な介護の実践」を担保する役割・機能
- ③介護職チームをマネジメントする役割
- ④介護職チームにおいてリーダーシップを発揮する役割
- ⑤介護職チームメンバーとのコミュニケーションを図る役割・機能
- ⑥介護職チームにおける「利用者ごとの介護過程の展開」を担保する役割
- ⑦介護職チームのメンバーへの指導・教育を行う役割
- ⑧介護職チームメンバーの「勤務管理・シフト調整」を行う役割
- ⑨利用者ごとのケア方針等について、多（他）職種と連携を図る役割・機能
- ⑩自職場において、業務改善（生産性向上）のプロジェクトを介護現場レベルで進めていく役割

n=119



- ・各施設・事業所で、これらの役割・機能について、「業務として位置づけられているか」を確認したところ、約3分の1の施設・事業所では、業務としての位置づけがない、又は、位置づけがあるか分からない、との回答だった。
- ・「業務としての位置づけ」がある施設・事業所では、これらの役割・機能を担っているのは、ほとんどが、介護福祉士有資格者であることが確認された。
- ・ここで取り上げた役割・機能については精査・整理が必要ではあるが、施設・事業所の介護職チームにおいて、これらの役割・機能は重要なものであり、業務として位置づけられていない現状は改善が必要である。
- ・介護職チームの中核的な役割を担う介護福祉士が、これらの役割・機能を十分に担っていける環境が整備されることが望ましい。

※運営サポーター調査の概要

調査対象：614名

(令和7年10月18日時点登録者)

調査期間：令和7年10月4日～同10月18日

有効回答：119件（有効回答率19.4%）